

## 実践事例④ 【「わたしたちの体育」を活用した実践例】

### 第5学年 体の動きを高める運動の実践を通して

鳥取市立湖山小学校

清水 拓実

#### 1. 授業の実際

##### (1) 場の設定

5年生の「体の動きを高める運動」では、①体の柔らかさを高める運動②巧みな動きを高める運動③力強さを高める運動④持続する力を高める運動の4つの領域が設定されている。本時では、児童が自分の課題である動きを1つ選び、苦手な動きを高めていく活動を行った。意図としては、自分の課題を見つけてその課題に合わせた運動を選ぶことで、自分の運動の得意・不得意な力を振り返ることができると考えたからである。また、1つの活動に焦点化することで、児童の学習に対する目的意識を高めるといふねらいもある。課題の動きを見つけるために、本時までに4つの領域の運動を、「わたしたちの体育」に掲載されている活動を参考に行った。



##### (2) 主体的で協同的な学びに繋げるために

児童が主体的に学習に取り組むことができるようにするためのしかけとして、授業の中に「発展タイム」を取り入れた。活動を行う中で自分の課題に合うように発展させることで、自分たちで考え実践しようとする態度を育もうと考えた。毎時間取り入れることで児童が主体的に考えて活動できる時間が増え、児童間での会話や協同的に学ぼうとする姿が見られるようになった。



#### 2. 成果と課題

○4つの領域の運動に分かれて活動を行うことで、児童一人一人の運動量を確保することができた。運動量や時間が確保できたことで、自分の課題に対する動きを高めることができた実感する児童が多くいた。

○タブレットに記録して自分たちの動きを残しておくことで、活動の工夫やふり返りを行う際に有効であった。

○振り返りを「わたしたちの体育」に記入することで、単元を通しての学びの繋がりや成長を実感している児童が多くいた。

△各運動で工夫を考えることができてはいたが、実際に課題を解決するための動きであったかを考えなければいけなかった。体づくり運動で行う運動では、他の単元の運動でも活かすことができるため、繋がりを意識しながら授業を構成していくことが必要であった。

